

報道各社とのティー・ミーティング(懇談会)が開催されました(H28. 7. 6)

第2回定例会中の平成28年7月6日(水)に、遠藤議長と報道各社とのティー・ミーティングが開催されました。

初めに、遠藤議長から、北海道議会のサハリン州訪問、「北海道の日」(仮称)制定に向けた検討会議、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録に向けた取り組み、ハワイ州との友好提携、議会庁舎改築について、話題提供がありました。

その後、報道各社と議長による質疑応答に入り、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録に向けた取り組みについて、議長から補足説明を行いました。

なお、議長からの話題提供の概要は次のとおりです。

【北海道議会のサハリン州訪問について】

5月18日から21日までの4日間、北海道議会代表団の団長としてロシア・サハリン州を訪問し、エフレモフ州議会議長、キスリツイン副議長、シチェルピナ州政府首相等とさまざまな意見交換を行うとともに、先進技術を導入した温室栽培施設や大規模な開発が計画されているコルサコフ市の港湾ターミナルなどの視察を行いました。

この訪問は、2000年5月に締結した「北海道議会とサハリン州議会との協力に関する協定書」に基づくもので、道議会側の訪問としては今回で8回目となります。北海道とサハリン州の間は、友好交流だけでなく、貿易・経済、投資、エネルギーや農林水産業などにおける協力、住民生活、環境、医療、教育文化、スポーツなど多岐にわたる分野での交流に広がりを見せており、今後、さらに友好関係が深まっていくのではないかと考えられ、私としては、大変感慨深い訪問でした。

【「北海道の日」(仮称)の制定に向けた検討会議について】

6月27日に、「北海道の日」(仮称)の制定に向けて、全会派による第1回の北海道の日条例案(仮称)検討会議が開催されました。昨年9月に、「『道民の日』(仮称)検討会議準備会」が発足し、「北海道の日」と改称することにするなど、その制定する意義、名称、日付、実施施策などについて検討され、6月に報告書が取りまとめられました。この準備会での報告書をもとに、検討会議において、今後、さらに北海道の日条例案(仮称)の全会一致・共同提案に向けて、議論を深めていくこととなります。

【「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録に向けた取り組みについて】

「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、北海道、青森県、岩手県、秋田県の知事側の推進組織が中心になって世界遺産登録に向けた取り組みを進めて来ましたが、議会側としても、この取り組みを推進する組織をつくることについて、私の方から3県の議長に提案したところであり、事務局に4道県としてどのような連携ができるか検討させているところです。

特に北海道は、縄文文化の精神がアイヌ民族に受け継がれているという他の3県とは違う事情があり、世界遺産に登録されるならば、北海道にとって素晴らしいことではないかと考えられます。

【ハワイ州との友好提携について】

平成27年9月にハワイ州議会下院の議員団が北海道を訪問され、ハワイ州との友好提携について要請をいただきました。

今年の10月頃に、友好提携に向けての最終準備としてハワイ州を訪問し、来年の調印に結びつけていきたいと考えています。

【議会庁舎改築について】

6月に民間団体から提出された議会庁舎改築問題に関する提言書に対して、議会庁舎改築整備等検討協議会で検討した内容についての資料を添付するなどして、丁寧に回答させていただきました。

今後、この議論については、従来どおり議会庁舎改築整備等検討協議会で行うこととなります。

